

2020年9月10日
有限会社バイオ研
研究所

機能性表示食品の届出におけるナノ型乳酸菌 nEF の『便通改善』機能 のシステマティックレビュー完了のお知らせ

高い分散性を有する殺菌乳酸菌粉末「ナノ型乳酸菌 nEF」に対し研究を重ね、この度「便通改善」をヘルスクレームとしたシステマティックレビューを完了させた。

機能性関与成分であるナノ型乳酸菌 nEF は *Enterococcus faecalis* KH2 株であり、排便が週 2~5 回の日本人成人男女 (30~59 歳) を対象とした試験において、*Enterococcus faecalis* KH2 株 (乳酸菌体として 1.0×10^{12} 個/日) の 1 週間継続摂取により有意に排便量の増加が認められた。また、*Clostridium* cluster IV の占有率がプラセボ群と比較し有意に増加することが確認された。*Clostridium* cluster IV は短鎖脂肪酸、特に酪酸を産生することが知られており、腸内細菌が産生する短鎖脂肪酸はエネルギー源となるだけでなく、腸管の蠕動運動や大腸粘膜の粘液分泌を亢進させることで糞便の腸管通過をスムーズにする。したがって、ナノ型乳酸菌 nEF の摂取は、*Clostridium* cluster IV の占有率を上昇させることで腸管内の酪酸量を増加させ、腸管の蠕動運動や糞便の排出を促進させる可能性が考えられる。

よって、1 日あたり 1 兆個のナノ型乳酸菌 nEF (原末として 200mg) の摂取により「本品にはナノ型乳酸菌 nEF が含まれます。ナノ型乳酸菌 nEF は、便秘気味の方の腸内環境を改善することで糞便の腸管通過を促進し、便通改善に役立つことが報告されています。」のヘルスクレーム表示が可能であると考えている。